

家庭と地域と学校で子どもたちを見守っていきましょう！

☆子どもの小さなサインを見逃すことのないよう、気になることがあれば連絡を取り合いましょう。



家庭

- 日頃から会話を大切にして、子どもが安心して自分の思いを話せる雰囲気をつくれるとよいですね。
- 「変だな」と思ったら、子どもの立場に立って話をじっくり聴いてあげましょう。



学校

- 子どもたち同士が互いに認め合う関係性を築いたり、自己肯定感や自尊心の醸成を図ったりして、いじめが起こりにくい風土づくりに努めています。
- 「いじめアンケート」や「教育相談」などを通して、いじめの早期発見・早期解決に努めるとともに、いじめを認知したときは、組織的に対応します。



地域

- 地域全体で学校の教育活動を支援し、子どもを守り育てる環境づくりを推進していきましょう。
- 「どうしたの?」「話を聞くよ」などの一言が、子どもを救うことがあります。



被害者かも?(表情)

- 表情が暗く、元気がない。
- ため息をつくことが多い。
- おどおどしている。
- 視線をそらし、合わそうとしない。



「おやっ?」と思うことは
あいませんか?

被害者かも?(服装・持ち物)

- 衣服の汚れや破れがある。
- お金の使い方が荒くなり、使い道を言いたがらない。
- 持ち物がなくなったり、落書きされたりしている。



被害者かも?(言動)

- メールや SNS などを気にしている。
- 学校や友だちの話題を避けるようになった。
- 不自然な外出が増えている。
- 家庭から金品を無断で持ち出した。
- 部活動をやめたいなどの話をするようになった。
- 体調不良を訴え、登校をしづむることが多くなった。



加害者かも?

- 反抗的な態度をとることが多くなった。
- すぐかっとなり、暴力をふるうようになった。
- お金の使い方が派手になった。
- 買い与えていない物を持っている。

